



新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。
この度、下記項目の検査受託を開始することとなりました。取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

● プレセプシン

検査要項

検査項目名	プレセプシン
項目コードNo.	3566
検体量	血漿 0.4mL/凍結
採血容器	容器番号:10番(ヘパリン容器)もしくは15番(内分泌学用容器) ^{※1}
検査方法	CLEIA
基準値	314 pg/mL 未満 (敗血症診断カットオフ値:500 pg/mL)
所要日数	3~4日
検査実施料	320点
検査判断料	144点(生化学的検査I)
外部委託先	三菱化学メディエンス株式会社
備考	※1 専用検体としての提出が必要となるため、ヘパリン容器での採血を推奨します。内分泌学用容器での提出時は、他項目との重複依頼は避けて下さい。依頼項目をお受け出来ない場合がございます。

受託開始日

● 平成26年1月30日(木) より

※裏面をご覧ください

●プレセプシン

敗血症は病原体によって引き起こされる全身性炎症反応症候群(SIRS)で、多臓器不全などを引き起こす致死性の疾患です。医療技術が進歩した現代でも敗血症の死亡率は依然高いことから、早期の適正な治療が最も重要であり、迅速な診断のため、より精度の高いマーカーの開発が求められています。

プレセプシンは、食細胞が細菌等を貪食する際に利用するCD14タンパクが消化酵素等による細胞内消化を受け分泌されるCD14のN末端部分からなる分子量約13kDaのタンパクです。

プレセプシンは、敗血症患者の血中で高値となり、敗血症の病態とよく相関することが報告されています。さらに、既存の敗血症マーカーでは高値となる熱傷や外傷、手術などの侵襲の影響を受けにくいことから、救命救急や重症感染症等の診断においても、プレセプシンは精度の高い敗血症マーカーとして利用が期待されています。

●保険収載の内容詳細

- ア プレセプシン定量は、区分番号「D007」血液化学検査の「47」プロカルシトニン(PCT)定量の所定点数に準じて算定する。
- イ 本検査と区分番号「D007」血液化学検査の「47」プロカルシトニン(PCT)半定量、プロカルシトニン(PCT)定量又は区分番号「D012」感染症免疫学的検査の「32」エンドトキシン検査を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。
- ウ 本検査は、敗血症(細菌性)を疑う患者を対象として測定した場合に算定できる。

参考文献

Shozushima T., et al., J Infect Chemother., **17**(6) : 764—769, 2011.

Okamura Y., et al., Clin Chim Acta., **412**(23—24) : 2157—2161, 2011.